

2025年度
名古屋大学経済学部
第3年次編入学試験

経済・経営に関する基礎的な問題

注意

1. 配付物は、問題紙、下書用紙および解答用紙である。
2. 問題紙および解答用紙は、試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
3. 解答用紙は2枚である。受験番号と氏名をすべての解答用紙の所定の欄にはつきり記入すること。
4. 問題紙は、表紙のほか3枚である。脱落等がある場合は試験開始後、直ちに申し出ること。
5. 解答は、解答用紙の指定されたところに記入すること。
6. 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
7. 問題紙および下書用紙は各自持ち帰ること。

問1 特定の財・サービスの市場において、完全競争を仮定し、需要の価格弾力性を推計するプロジェクトを考える。

- (1) 完全競争市場の定義と成立条件を簡潔に説明しなさい。
- (2) 需要の価格弾力性の意味を説明しなさい。また政府や規制当局にとって需要の価格弾力性を理解することの意義を、具体例を用いて簡潔に説明しなさい。
- (3) 需要の価格弾力性を定量化するために回帰分析による推定を考える。以下の回帰モデルにおける係数 β を需要の価格弾力性を示すパラメータと解釈することの問題点を簡潔に説明しなさい。なお P_i を市場の価格、 Q_i を需要量とする：

$$Q_i = \alpha + \beta \cdot P_i + u_i \quad (\text{回帰モデル})$$

- (4) 市場における価格と取引量のデータを収集し、需要の価格弾力性を散布図や回帰分析などによって推計することを考える。この方法の妥当性について、完全競争市場のメカニズムに言及しながら議論しなさい。
- (5) 消費者が高所得層と低所得層に分かれている場合、需要の価格弾力性は2つの層の間でどのように異なると考えられるか、具体的な財・サービスの市場を例に挙げ、スルツキー方程式に基づいて議論しなさい。

問2 当社は3つの市場(X・Y・Z)で事業を展開している。資料は当年度の各市場の規模、および市場の平均成長率、各市場における当社と競合企業の市場占有率である。ポストン・コンサルティング・グループ(BCG)が提唱したとされるプロダクト・ポートフォリオ・マネジメント(PPM)に関する以下の問いに答えなさい。

資料

	X市場		Y市場		Z市場	
当年度の市場規模	100 億円		700 億円		600 億円	
市場の平均成長率	5.0 %		△ 8.0 %		△ 6.0 %	
市場占有率	企業	占有率	企業	占有率	企業	占有率
	A社	50.0 %	E社	36.0 %	当社	36.0 %
	当社	25.0	F社	27.0	I社	24.0
	B社	6.0	G社	18.0	E社	17.0
	C社	4.0	当社	12.0	J社	12.0
	D社	2.0	H社	3.0	K社	10.0
	その他	13.0	その他	4.0	その他	1.0
	100.0 %		100.0 %		100.0 %	

(1) 以下の文を読み、空欄ア～オ, キ～ケにあてはまる最も適切な語を解答群より選択し、その記号を解答欄に記入しなさい。また、空欄カ, コ～シにあてはまる数字を解答欄に記入しなさい。

1つの企業が市場や製品が異なる複数の事業を展開することをア化という。そして、個別の事業の戦略を事業戦略とよぶのに対して、ア化した企業全体の戦略はイ戦略とよばれる。PPMは、ア化企業において、経営資源、特にウを各事業に配分する方針についての考え方である。

PPMで用いる図(PPM図)の縦軸の数值はエを、横軸の数值はオを表す。なお、横軸では高い数值を左に、低い数值を右にする。そして、縦軸が横軸と交わるのは、横軸のカの点である。また、図上にプロットする点(丸)の大きさで、キを表す。このように作図したとき、平面は縦軸と横軸で4つに区切られ、それぞれの領域には名称がつけられる。このうち、右下の領域の名称はクである。この領域にプロットされた事業は、事業のケを検討した方がよい場合もある。

資料に基づいて各市場における当社の売上高を計算すると、X市場がコ億円、

Y市場が()億円, Z市場が()億円となる。また, 相対市場占有率を計算すると, X市場が **サ**, Y市場が(), Z市場が **シ** となる。

ア ~ **ウ** の解答群

- | | | | |
|------|--------|---------|--------|
| ① 差別 | ① 多角 | ② 高付加価値 | ③ 競争 |
| ④ 職能 | ⑤ 全社 | ⑥ キャッシュ | ⑦ 人的資源 |
| ⑧ 技術 | ⑨ 顧客情報 | | |

エ ・ **オ** ・ **キ** の解答群

- | | | | |
|---------|--------------------|---------|-----------|
| ① 市場成長率 | ① 売上高伸び率 | ② 市場占有率 | ③ 相対市場占有率 |
| ④ 営業利益 | ⑤ 売上高 | ⑥ 売上総利益 | ⑦ 集中度 |
| ⑧ 交渉力 | ⑨ ハーシュマン・ハーフィンダル指数 | | |

ク ・ **ケ** の解答群

- | | | | |
|--------|------------|-------|---------|
| ① 追加投資 | ① 買収 | ② 撤退 | ③ 強化 |
| ④ スター | ⑤ 負け犬 | ⑥ 問題児 | ⑦ 金のなる木 |
| ⑧ 花形 | ⑨ キャッシュ・カウ | | |

(2) **資料** に基づいて, PPM 図を作成しなさい。作図はフリーハンドで構わないが, 縦軸・横軸, 点(丸)には, 数値, 目盛り, 事業名称等, 図の読み取りに必要な情報を書き入れること。また, 点(丸)の大きさも目分量で構わないが, 点(丸)の大小関係が分かる程度に区別して描くこと。

(3) PPM 図から読み取ることができる, X・Y・Zの各事業の評価, および, それを踏まえた, 今後の各事業への資源配分の方針を述べなさい。